



暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。早いもので、今年度も残り2ヶ月となりました。時の流れの早さに驚いています。お子様方も4月の頃よりも、大きく成長しており日々頼もしく感じます。

今年は、4年に1度の「うるう年」にあたります。暦と実際の太陽の動きの差を調整するために、2月29日が追加される特別な年です。4年に1度の日をどう過ごすかをご家族で考えてみるのも楽しいですね。

冬も折り返しを迎えましたが、引き続き新型コロナウイルス、インフルエンザなどの感染症に注意をしなければいけない季節です。手洗いやうがい、消毒をいつもより丁寧に行うようにしましょう。

【2024年度 受け入れ時間について】

時間変更の可能性があるとお知らせしておりましたが、今年度と同様、
Aクール10:00-12:00 Bクール13:00-15:00 Cクール15:00-17:00
3クール体制となります。よろしくお願い申し上げます。



Let's Try!!

ホームエクササイズ 【社会性の発達】

一口に「社会性」と言っても、「同じ場で活動する」「他者の認識」「関わる(直接/間接)」「一緒に行く」「共同する・共有する」「見て真似る」等いろいろな段階があります。決してSST(ソーシャルスキルトレーニング)で行なうような、ルールを守ることや挨拶の仕方等だけを言うものではありません。社会性は生まれてすぐの時期から人と関わる中で常に育まれているのです。

例えば、社会に触れる第一歩として子育て支援センターや公園に行くことが挙げられます。ここでは、誰かが遊んでいる様子やその人を見る力や、同年代の子どもがいる場で場を共有している状態に慣れる力が育まれています。直接的な関わりがまだない時期にもこうした力が育まれているというのは、とても大切な視点です。

教室ではそうした土台に徐々にコミュニケーション環境を設定し、アイコンタクトや「かして」「やって」等の要求語を伝える場面を作っていく、他者との関わりを持てるようにします。さらに、他児の名前を呼ぶことやあいさつをすること等の集団生活に必要なスキルに繋げていきます。

日常生活に必要な社会性に着目し、段階的にお子様の生活年齢や発達段階に合った関わり方、交わり方をしていくことが大切です。セラピーの中では、お子様の段階に合わせて「他者を感じる機会」「他者と触れる機会」「他者と交わる機会」を大人の手を少しずつ離しながら作っています。

- ・一緒に砂遊びをする
- ・言葉のやりとりをする
- ・道具の貸し借りをする等



- ・同じ場で活動する
- ・場を共有する
- ・他者を認識する等



2月の手遊び歌 ♪わにのかぞく♪

わにのおとうさん わにのおとうさん おくちをあけて ぽかっ
 おひげ じょりじょり おひげ じょりじょり およいでいます
 わにのおかあさん わにのおかあさん おくちをあけて ぽかっ
 おけしょう ぱたぱた おけしょう ぱたぱた およいでいます
 わにのおにいさん わにのおにいさん おくちをあけて ぽかっ
 きんにく もりもり きんにく もりもり およいでいます
 わにのおねえさん わにのおねえさん おくちをあけて ぽかっ
 おしり ふりふり おしり ふりふり およいでいます
 わにの あかちゃん わにのあかちゃん おくちをあけて ぽかっ
 みるく ごくごく みるく ごくごく およいでいます

